

鎧畑及び田沢湖発電所大規模改良事業

06-DK-11

様式集及び提案記載要領

令和6年（2024年）4月

秋田県産業労働部公営企業課

目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 第1章 提出書類の記載及び提出要領 | 1 |
| 1 守秘義務対象資料の提供申込時における提出書類 | 1 |
| 2 入札説明書等に関する質問書に関する提出書類 | 1 |
| 3 参加表明及び参加資格確認申請書等に関する提出書類 | 1 |
| 4 対面式対話に関する提出書類 | 2 |
| 5 入札時の提出書類 | 2 |
| 6 入札辞退時の提出書類 | 7 |
| 第2章 作成及び提出上の留意点 | 8 |
| 1 提出書類の位置づけ | 8 |
| 2 企業名の記載 | 8 |
| 3 記載内容 | 8 |
| 4 書式等 | 8 |
| 5 提出要領 | 8 |
| 6 提案内容の電子データ | 9 |
| 1 図面等の提供等に係る提出書類 | 10 |
| （様式第1-1号）守秘義務対象資料提供申込書 | 11 |
| （様式第1-2号）守秘義務に関する誓約書 | 12 |
| （様式第1-3号）第二次被開示者への資料開示通知書 | 14 |
| 2 入札説明書等に関する質問書に関する提出書類 | 15 |
| （様式第2号）質問書 | 16 |
| 3 参加表明及び参加資格確認申請等に関する提出書類 | 17 |
| （様式第3-1-1号）参加表明書 | 18 |
| （様式第3-1-2号）入札参加者の構成及び役割分担表 | 19 |
| （様式第3-1-3号）委任状 | 21 |
| （様式第3-2-1号）参加資格確認申請書 | 22 |
| （様式第3-2-2号）暴力団排除に係る誓約書 | 23 |
| （様式第3-2-3号）役員名簿 | 24 |
| （様式第3-3-1号）建設に関する個別参加資格要件確認書 | 25 |
| （様式第3-3-2号）調査・設計に関する個別参加資格要件確認書 | 27 |
| （様式第3-3-3号）水車、発電機等を納入する者の参加資格要件確認書 | 28 |
| （様式第3-3-4号）参加確約書 | 29 |
| 4 対面式対話に関する提出書類 | 31 |
| （様式第4-1号）対面式対話参加申込書 | 32 |
| （様式第4-2号）対面式対話における質問書 | 33 |
| 5 入札時の提出書類 | 34 |
| (1) 入札書等 | 35 |
| （様式第5-1-1号）入札書 | 36 |
| （様式第5-1-2号）委任状 | 37 |
| （様式第5-1-3号）事業費内訳書 | 38 |
| (2) 提案審査書類提出届等 | 39 |
| （様式第5-2-1号）提案審査書類提出届 | 40 |

| | |
|---|----|
| (様式第 5-2-2 号) 提案確認書 | 41 |
| (様式第 5-2-3 号) 業務要求水準に関する誓約書 | 44 |
| (様式第 5-2-4 号) 基礎項目審査確認リスト (鎧畑発電所) | 45 |
| (様式第 5-2-5 号) 基礎項目審査確認リスト (田沢湖発電所) | 49 |
| (3) 技術提案書 | 52 |
| ア 事業全体に関する提案書 | 53 |
| (様式第 A-1 号) 事業全体方針 | 54 |
| (様式第 A-2 号) 事業実施体制 | 55 |
| (様式第 A-3-1 号) 事業スケジュール【鎧畑】 | 56 |
| (様式第 A-3-2 号) 事業スケジュール【田沢湖】 | 57 |
| (様式第 A-4 号) 発注者業務の軽減策及びリスク対応策 | 58 |
| (様式第 A-5 号) 地域貢献策 | 59 |
| (様式第 A-6 号) 賃金水準の向上 | 60 |
| イ 設計施工に関する提案書 | 62 |
| (様式第 B-1-1 号) 発電設備の全体計画【鎧畑】 | 63 |
| (様式第 B-1-2 号) 発電設備の全体計画【田沢湖】 | 64 |
| (様式第 B-2-1 号) 発電設備能力及び発電電力量の向上【鎧畑】 | 65 |
| (様式第 B-2-2 号) 発電設備能力及び発電電力量の向上【田沢湖】 | 66 |
| (様式第 B-3-1 号) 維持管理の簡素化及び運転管理費の縮減に資する方策【鎧畑】 | 67 |
| (様式第 B-3-2 号) 維持管理の簡素化及び運転管理費の縮減に資する方策【田沢湖】 | 68 |
| (様式第 B-4-1 号) 長期修繕計画【鎧畑】 | 69 |
| (様式第 B-4-2 号) 長期修繕計画【田沢湖】 | 70 |
| (様式第 B-4-3 号) 長期修繕計画 (予備品及び付属品の納入計画)【鎧畑】 | 71 |
| (様式第 B-4-4 号) 長期修繕計画 (予備品及び付属品の納入計画)【田沢湖】 | 72 |
| (様式第 B-5-1 号) 施工計画【鎧畑】 | 73 |
| (様式第 B-5-2 号) 施工計画【田沢湖】 | 74 |
| (様式第 B-6-1 号) 引渡し後のアフターサービス【鎧畑】 | 75 |
| (様式第 B-6-2 号) 引渡し後のアフターサービス【田沢湖】 | 76 |
| ウ 施設計画図面集 | 77 |
| (図面 1) 発電計画の概要 (発電諸元)【鎧畑・田沢湖】 | 78 |
| (図面 2) 土木・建築 (位置図)【鎧畑・田沢湖】 | 79 |
| (図面 3) 土木・建築 (発電所敷地図)【鎧畑・田沢湖】 | 80 |
| (図面 4) 土木・建築 (平面図)【鎧畑・田沢湖】 | 81 |
| (図面 5) 土木・建築 (断面図)【鎧畑・田沢湖】 | 82 |
| (図面 6) 土木・建築 (構造図)【鎧畑・田沢湖】 | 83 |
| (図面 7) 土木・建築 (仮設計画図)【鎧畑・田沢湖】 | 84 |
| (図面 8) 水車発電機 (外形図)【鎧畑・田沢湖】 | 85 |
| (図面 9) 水車発電機 (構造図)【鎧畑・田沢湖】 | 86 |
| (図面 10) 水車発電機 (平面図)【鎧畑・田沢湖】 | 87 |
| (図面 11) 電気設備 (単線結線図)【鎧畑・田沢湖】 | 88 |
| (図面 12) 電気設備 (平面図・断面図)【鎧畑・田沢湖】 | 89 |
| (4) 接続検討申込に必要な書類 | 90 |
| (様式第 5-4-1 号) 発電設備仕様 (同期機)【鎧畑・田沢湖】 | 91 |

| | |
|--|-----|
| (様式第 5-4-2 号) 保護リレー【鎧畑・田沢湖】 | 92 |
| (様式第 5-4-3 号) 変圧器および線路【鎧畑・田沢湖】 | 93 |
| (様式第 5-4-4 号) 受電設備および負荷設備【鎧畑・田沢湖】 | 94 |
| (様式第 5-4-5 号) 高調波流出電流計算書【鎧畑・田沢湖】 | 95 |
| (様式第 5-4-6 号) 発電機制御系ブロック図(励磁系)【鎧畑・田沢湖】 | 96 |
| (様式第 5-4-7 号) 発電機制御系ブロック図(ガバナ系)【鎧畑・田沢湖】 | 97 |
| (様式第 5-4-8 号) 発電機の飽和特性【鎧畑・田沢湖】 | 98 |
| (様式第 5-4-9 号) 設備配置関連(主要設備レイアウト図)【鎧畑・田沢湖】 | 99 |
| (様式第 5-4-10 号) 保護リレーブロック図【鎧畑・田沢湖】 | 100 |
| (様式第 5-4-11 号) 制御回路電源図【鎧畑・田沢湖】 | 101 |
| (様式第 5-4-12 号) インピーダンスマップ【鎧畑・田沢湖】 | 102 |
| (様式第 5-4-13 号) 変圧器励磁特性曲線【鎧畑・田沢湖】 | 103 |
| (様式第 5-4-14 号) 変圧器励磁特性【鎧畑・田沢湖】 | 104 |
| (様式第 5-4-15 号) 発電機の出力制御に関する資料【鎧畑・田沢湖】 | 105 |
| (様式第 5-4-16 号) 保護装置の取扱説明書【鎧畑・田沢湖】 | 106 |
| 6 入札辞退時の提出書類 | 107 |
| (様式第 6 号) 入札辞退届 | 108 |

第1章 提出書類の記載及び提出要領

1 守秘義務対象資料の提供申込時における提出書類

- (1) 守秘義務対象資料提供申込書 (様式第 1-1 号)
守秘義務対象資料の提供申込を行う企業は、守秘義務に関する誓約書(様式第 1-2 号)を添付し、記名捺印の上、提出すること。
- (2) 守秘義務に関する誓約書 (様式第 1-2 号)
様式に記載の誓約事項を確認し、記名捺印の上、提出すること。
- (3) 第二次被開示者への資料開示通知書 (様式第 1-3 号)
守秘義務対象資料の提供を受けた企業が、守秘義務に関する誓約書記載の第二次被開示者に対して守秘義務対象資料の全部又は一部を開示する場合、提出すること。

2 入札説明書等に関する質問書に関する提出書類

- (1) 質問書 (様式第 2 号)

3 参加表明及び参加資格確認申請書等に関する提出書類

以下の(1)～(3) (うち、(2)～(3)を総称して以下「参加資格確認申請書等」という。)に示す書類を正1部提出すること。なお、提出時には(1)～(3)の電子データを格納したCD-R又はDVD-Rを1枚同封すること。

- (1) 参加表明に関する提出書類
- ア 参加表明書 (様式第 3-1-1 号)
 - イ 入札参加者の構成及び役割分担表 (様式第 3-1-2 号)
 - ウ 委任状 (様式第 3-1-3 号)
- (2) 参加資格確認に関する提出書類
- 参加資格確認申請書 (様式第 3-2-1 号)

本事業の参加資格確認申請について、代表者及び構成員に関する次に示す必要書類を添付のうえ、提出すること。

<添付書類>

- ① 会社概要 (パンフレット等の使用も可)
- ② 商業登記簿謄本 (提出日において発行日より3ヶ月以内のもの)
- ③ 印鑑証明書 (提出日において発行日より3ヶ月以内のもの)
- ④ 企業単体の貸借対照表、損益計算書及び株主基本等変動計算書 (直近3期分)
- ⑤ 連結決算の貸借対照表及び損益計算書及び株主基本等変動計算書 (連結決算実施企業に限る。直近3期分)
- ⑥ 消費税及び地方消費税納税証明書の原本又は写し
- ⑦ 秋田県税の納税証明書の原本 (「県税の徴収金について滞納のないこと」の証明を取得

のうえ、提出すること)

- ⑧ 社会保険料納入証明書又は社会保険料納入確認書（適用除外事業所を除く）
- ⑨ 暴力団排除に係る誓約書 (様式第 3-2-2 号)
- ⑩ 役員名簿 (様式第 3-2-3 号)

(3) 参加資格要件確認書類

調査・設計業務のみを実施する企業を入札参加者に含める場合は、イを提出すること。

水車、発電機等を納入する者を入札参加者に含める場合はウ、水車、発電機等を納入する者を協力企業に含める場合はエを提出すること。

- ア 建設に関する個別参加資格要件確認書 (様式第 3-3-1 号)
- イ 調査・設計に関する個別参加資格要件確認書 (様式第 3-3-2 号)
- ウ 水車、発電機等を納入する者の参加資格要件確認書 (様式第 3-3-3 号)
- エ 参加確約書 (様式第 3-3-4 号)

4 対面式対話に関する提出書類

- (1) 対面式対話参加申込書 (様式第 4-1 号)
- (2) 対面式対話における質問書 (様式第 4-2 号)

5 入札時の提出書類

入札時は、次の (1) に示す書類（以下「入札書等」という。）及び次の (2)～(5) に示す書類（以下「提案審査書類」という。）を作成し、指定の部数を提出すること。(3) 技術提案書及び (4) 接続検討申込に必要な書類は正本 1 部、副本 12 部を用意すること。また、(2) 提案審査書類提出届等は、(3) 技術提案書の正本の前に添付すること。なお、正本の表紙には、「正本」である旨を記入し、副本の表紙には、右肩に 1 から 12 までの番号を付けること。

| 入札時の提出書類 | | 規格等 | 部数 | |
|----------|------------------|-----------------|-------|-------------------|
| (1) 入札書等 | ア 入札書 | A4 | 各 1 部 | |
| | イ 委任状 | | | |
| | ウ 事業費内訳書 | A3 | | |
| 提案審査書類 | (2) 提案審査書類提出届等 | ア 提案審査書類提出届 | A4 | 正本 1 部 |
| | | イ 提案確認書 | | |
| | | ウ 業務要求水準に関する誓約書 | | |
| | | エ 基礎項目審査確認リスト | | |
| | (3) 技術提案書 | ア 事業全体に関する提案書 | A3・A4 | 正本 1 部 副本 12 部 |
| | | イ 設計施工に関する提案書 | | |
| | | ウ 施設計画図面集 | | |
| | (4) 接続検討申込に必要な書類 | | | |
| | (5) 提案審査書類の電子データ | | DVD | 2 部 |

(1) 入札書等

- ア 入札書 (様式第 5-1-1 号)

- イ 委任状（代理人が入札書等と提案審査書類を持参する場合のみ提出）
 (様式第 5-1-2 号)
- ウ 事業費内訳書
 (様式第 5-1-3 号)

(2) 提案審査書類提出届等

- ア 提案審査書類提出届
 (様式第 5-2-1 号)
- イ 提案確認書
 (様式第 5-2-2 号)
- ウ 業務要求水準に関する誓約書
 (様式第 5-2-3 号)
- エ 基礎項目審査確認リスト（鎧畑発電所）
 (様式第 5-2-4 号)
- オ 基礎項目審査確認リスト（田沢湖発電所）
 (様式第 5-2-5 号)

(3) 技術提案書

ア 事業全体に関する提案書

| 項目 | | 主たる記載事項 | 最大枚数 | 対応様式 |
|------|--------------------|--|--------|----------------|
| 事業全体 | ①事業全体方針 | ・ 事業に対する取組方針 | A4×2 頁 | A-1 |
| | ②事業実施体制 | ・ 実施体制（指揮命令系統、女性活躍推進に向けた取組を含む） ・ 役割分担表 ・ 企業自体の FIT 又は FIP に係る工事実績 ・ 配置予定技術者の実績、資格 | A4×4 頁 | A-2 |
| | ③事業スケジュール | ・ 工期及び発電停止期間の短縮策 ・ 契約締結から発電運転開始までの工程表 | A3×1 頁 | A-3-1 (鎧畑) |
| | | | A3×1 頁 | A-3-2 (田沢湖) |
| | ④発注者業務の軽減策及びリスク対応策 | ・ 発注者業務の軽減策 ・ 主要なリスク及びリスク発現時の対応方針 | A4×2 頁 | A-4 |
| | ⑤地域貢献策 | ・ 地元地域への貢献につながる方策 | A4×2 頁 | A-5 |
| | ⑥賃金水準の向上 | ・ 給与等受給者一人当たり給与等支払額の増加率 | A4×1 頁 | A-6 |

イ 設計施工に関する提案書

| 項目 | | 主たる記載項目 | 最大枚数 | 対応様式 | 図面1～図面12（ウ施設計画図面集）を参照 |
|-----------------|--|---|------------|------------|-----------------------|
| 設計施工 | ① 発電設備の全体計画 | ・各発電設備の設計主旨及び諸元又は仕様 | A4×6 頁 | B-1-1（鎧 畑） | |
| | | | A4×6 頁 | B-1-2（田沢湖） | |
| | ② 発電設備能力及び発電電力量の向上 | ・ピーク運転（ただし、流入量が35m ³ /s以上の場合、最大連続運転）による年間可能発電電力量の試算と算出プロセス（有効落差の検討含む） ・流量別の水車発電機効率（効率曲線図含む） | A4×3 頁 | B-2-1（鎧 畑） | |
| | | | A4×3 頁 | B-2-2（田沢湖） | |
| | ③ 維持管理の簡素化及び運転管理費の縮減に資する方策 | ・維持管理の簡素化及び運転管理費の縮減及び発電設備の長寿命化に資する方策 ・発電所内のレイアウト図 | A4×4 頁 | B-3-1（鎧 畑） | |
| | | | A4×4 頁 | B-3-2（田沢湖） | |
| | ④ 長期修繕計画 | ・長期修繕計画の素案 | A3×1 頁 | B-4-1（鎧 畑） | |
| | | | A3×1 頁 | B-4-2（田沢湖） | |
| | | ・予備品及び付属品の納入計画 | A4×2 頁 | B-4-3（鎧 畑） | |
| | | | A4×2 頁 | B-4-4（田沢湖） | |
| ⑤ 施工計画 | ・施工手順、搬入路や工事ヤード等の仮設計画 ・施工上の周辺環境も含めた留意事項と対応策 | A4×4 頁 | B-5-1（鎧 畑） | | |
| | | A4×4 頁 | B-5-2（田沢湖） | | |
| ⑥ 引渡し後のアフターサービス | ・施工後の引渡し内容や情報（図書等） ・技術員派遣 ・部品調達等発電設備のメンテナンス体制 ・連絡体制 | A4×1 頁 | B-6-1（鎧 畑） | | |
| | | A4×1 頁 | B-6-2（田沢湖） | | |

ウ 施設計画図面集

イの設計施工に関する提案書に記載した事項を補足するためのものとして、記載内容と整合する内容を図面として示すこと。

なお、鎧畑発電所と田沢湖発電所は、それぞれ分けて作成し、各様式の上部に記載の【鎧畑・田沢湖】の該当する方を○で囲む、あるいは、該当しない方を削除するなどして、どちらの発電所の図面か分かるようにすること。

| 書類名 | 規格 | 最大页数 | 備考 | 対応様式 |
|-------------|----|------|---|-------|
| 発電計画の概要 | | | | |
| 発電諸元 | A4 | 任意 | ・ 発電出力、使用水量、有効落差、損失落差、発電電力量、水車形式等 | 図面 1 |
| 基本図面（土木・建築） | | | | |
| 位置図 | A3 | 任意 | | 図面 2 |
| 発電所敷地図 | A3 | 任意 | ・ 接続検討申込における「設備配置関連（敷地平面図）」及びFIP申請において「発電所設置場所敷地図」として使用する図面 ・ 図中に縮尺を記載すること | 図面 3 |
| 平面図 | A3 | 任意 | ・ FIP 申請書類に必要な取水設備～導水路～調圧水槽～水圧管路～水車～放水路を示す平面図 | 図面 4 |
| 断面図 | A3 | 任意 | ・ 取水設備、導水路、調圧水槽、水圧管路、水車、放水路等の主要横断図 ・ FIP 申請書類に必要な取水設備～導水路～調圧水槽～水圧管路～水車～放水路を示す縦断図 | 図面 5 |
| 構造図 | A3 | 任意 | ・ （鎧畑発電所）導水路、調圧水槽、水圧管路、発電所建屋・基礎、放水路等 ・ （田沢湖発電所）田沢湖堰堤改修、水圧管路、発電所建屋・基礎、調圧水槽、放水路等 | 図面 6 |
| 仮設計画図 | A3 | 任意 | ・ 図面に施工方法等の説明を記載することは可 | 図面 7 |
| 基本図面（水車発電機） | | | | |
| 外形図 | A3 | 任意 | ・ 主要部の構造及び外形寸法が明示されている図面 | 図面 8 |
| 構造図 | A3 | 任意 | ・ 機器の内部構造の詳細が確認できる図面、又は全体構造及び器具の配置が明示され、仕様及び分解組立が理解できる図面 | 図面 9 |
| 平面図 | A3 | 任意 | | 図面 10 |
| 基本図面（電気設備） | | | | |

| 書類名 | 規格 | 最大頁数 | 備考 | 対応様式 |
|---------|----|-------|--|-------|
| 単線結線図 | A3 | 1 頁 | ・ 接続検討申込及び FIP 申請書類に必要な、発電機（発電設備）から取引用電力量計を經由して系統線（送配電線）までの配線状況を示す図面 | 図面 11 |
| 平面図・断面図 | A3 | 各 1 頁 | ・ 変電設備 | 図面 12 |

(4) 接続検討申込に必要な書類

落札者決定前後より、接続検討申込が必要であることから、技術提案書の内容に基づき、必要事項を記載すること。また、接続検討申込において東北電力ネットワーク株式会社から記載内容の修正や追加の資料提供等を求められた場合は、協力すること。

なお、鎧畑発電所と田沢湖発電所は、それぞれ分けて作成し、各様式の上部に記載の【鎧畑・田沢湖】の該当する方を○で囲む、あるいは、該当しない方を削除するなどして、どちらの発電所の書類か分かるようにすること。

| 書類名 | 規格 | 最大頁数 | 備考 | 対応様式 |
|--------------------|----|------|---|--------|
| 発電機仕様（同期機） | A4 | 1 頁 | | 5-4-1 |
| 保護リレー | A4 | 1 頁 | | 5-4-2 |
| 変圧器および線路 | A4 | 1 頁 | | 5-4-3 |
| 受電設備および負荷設備 | A4 | 1 頁 | ・ 電圧フリッカ発生源がある場合は、電圧フリッカ対策検討資料を添付 | 5-4-4 |
| 高調波流出電流計算書 | A4 | 2 頁 | ・ 高調波を発生する設備を設置する場合のみ作成 | 5-4-5 |
| 発電機制御系ブロック図（励磁系） | A3 | 任意 | | 5-4-6 |
| 発電機制御系ブロック図（ガバナ系） | A3 | 任意 | | 5-4-7 |
| 発電機の飽和特性 | A3 | 任意 | | 5-4-8 |
| 設備配置関連（主要設備レイアウト図） | A3 | 任意 | ・ 計量器・VCT・通信端末ならびに受電設備の設置場所が分かるように記載 ・ 通信ケーブルの引込ルートの指定があれば分かるように記載 ・ 図中に縮尺を記載 | 5-4-9 |
| 保護リレーブロック図 | A3 | 任意 | | 5-4-10 |
| 制御回路電源図 | A3 | 任意 | | 5-4-11 |
| インピーダンスマップ | A3 | 1 頁 | | 5-4-12 |

| 書類名 | 規格 | 最大頁数 | 備考 | 対応様式 |
|----------------|----|------|--------------------------------|--------|
| 変圧器励磁特性曲線 | A3 | 任意 | | 5-4-13 |
| 変圧器励磁特性 | A3 | 1 頁 | ・ 様式第 5-4-14 又は当該様式と同等の資料とすること | 5-4-14 |
| 発電機の出力制御に関する資料 | A4 | 任意 | ・ 電圧制御・発電機有効電力及び無効電力制御方法を記載 | 5-4-15 |
| 保護装置の取扱説明書 | A4 | 任意 | | 5-4-16 |

6 入札辞退時の提出書類

入札辞退時は、次の書類を 1 部提出すること。

入札辞退届

(様式第 6 号)

第2章 作成及び提出上の留意点

1 提出書類の位置づけ

書類の作成に当たっては、落札者決定基準を熟読し、提出書類の審査上及び契約上の位置づけをよく理解すること。

2 企業名の記載

入札時の提出書類のうち、企業名は第1章 5 (1)、(2)、(3)及び(4)の正本のみに記入し、副本には一切の企業（代表者及び構成員以外の企業も含む）、名称（通称、略称を含む）及びこれらの企業を類推できるものの記載（ロゴマークの使用や自社独自開発技術の固有名称など）は行わないこと。

3 記載内容

- ・明確かつ具体的に記述すること。
- ・分かりやすさ、見やすさに配慮し、必要に応じて図、表、写真、スケッチ等を適宜利用すること。
- ・造語や略語は、専門用語、一般用語を用いて初出の箇所に定義を記述すること。
- ・他の様式や補足資料に関連する事項が記載されている等、参照が必要な場合には、該当するページを記入すること。
- ・提出書類に使用する言語は日本語とし、すべて横書きとする。また、単位はSI単位、通貨単位は日本円、時刻は日本標準時（UTC+9）とすること。
- ・提出書類において消費税及び地方消費税を含めた額を記入する場合には、すべて10%で計算すること。
- ・住所等については、略さず〇条〇丁目〇番〇号等は正確に記載すること。また、政令指定都市は市から、それ以外は都道府県から記載すること。
- ・電子メールアドレスについては、携帯電話のメールアドレスは記載しないこと。
- ・各様式において、記述が必要とされている事項については、必ず記述すること。

4 書式等

- ・使用する用紙は、特に指定のない限り、日本工業規格「A4判」縦長横書き片面とし、上下左右には20mm程度の余白を設けること。
- ・分かりやすさ、見やすさに配慮し、技術提案書で使用する文字の大きさは、図表等を除き10.5ポイント以上とし、適度な行間を設けること。
- ・枚数制限が定められている場合は、それを遵守すること。
- ・ページが複数にわたる場合は、右肩に指定された記載箇所に「通し番号/当該様式全体の総頁数」を記入（例えば、様式Aでは、様式A-1～様式A-6で一様式とする。）すること。また、ページ下部中央に(3)技術提案書(様式A～B全体)の通しページ数を付すこと。
- ・ページ右下に、県から送付された参加資格確認結果通知書に記入されている登録記号を付すこと。
- ・各様式の枠内に記載されている注記事項については、削除したうえで提案内容を記載すること。

5 提出要領

- ・参加表明書及び参加資格確認申請書等の提出に際しては、様式第 3-1-1 号から第 3-3-4 号までを A4 ファイルに番号の若い順に一括して綴じ、必要な添付書類を添付したうえで、表紙及び背表紙に「参加表明及び参加資格確認申請等に関する提出書類」と記載の上、提出すること。
- ・入札書（様式第 5-1-1 号）と事業費内訳書（様式第 5-1-3 号）は封かんのうえ、1 部を提出すること。封筒には「秋田県知事 佐竹 敬久 様」と「鎧畑及び田沢湖発電所大規模改良事業 06-DK-11」を記載し、「入札書在中」と朱書を行い代表者の名称及び住所を表記すること。封筒については横書き又は縦書きのいずれも可とする。
- ・委任状（様式第 5-1-2 号）を提出する場合は、様式に従い記入押印のうえ、入札書提出場所に提出すること。
- ・以下に示す書類を A4 ファイルに番号の若い順に一括して綴じ（添付書類を含む。）、表紙及び背表紙に「提案書」と記載するとともに、県から送付された参加資格確認結果通知書に記入されている登録記号を記載の上、提出すること。A3 判の様式は、横長片面印刷とし、A4 ファイルに折り込んで綴じること。
 - 様式第 5-2-1 号から第 5-2-4 号まで（正本のみ）
 - 様式第 A-1 号から第 A-6 号まで
 - 様式第 B-1 号から第 B-6 号まで
 - 様式第 5-4-1 号から第 5-4-16 号まで（正本のみ）
- ・図面 1 から 12 までは、横長片面印刷とし、A3 ファイルに番号の若い順に折りたたみず一括して綴じ、表紙及び背表紙に「施設計画図面集」並びに県から送付された参加資格確認結果通知書に記入されている登録記号を記載の上、提出すること。

6 提案内容の電子データ

入札時は、提案審査書類提出届等のア～エ、技術提案書のア～ウ（正本、副本の双方）及び接続検討申込に必要な書類までの提案内容がすべて保存されている DVD-R を 2 部提出すること。1 枚に収まりきらない場合は、複数枚に分けて提出することも認める。

電子データを保存するアプリケーションソフトは、様式集で定める形式（Microsoft Word 又は Microsoft Excel（いずれも Windows 対応））とする。なお、Microsoft Excel で作成する様式は、関数、計算式等を残した状態で提出すること。

図面は、使用ソフトを Microsoft Word 又は Microsoft Excel に限定しないが、提出するデータは PDF 形式とする（ただし、テキストや画像のコピーが有効な設定とすること）。

1 図面等の提供等に係る提出書類

(様式第 1-1 号) 守秘義務対象資料提供申込書

令和 6 年 月 日

鎧畑及び田沢湖発電所大規模改良事業
06-DK-11
守秘義務対象資料提供申込書

秋田県知事 佐竹 敬久 様

住 所 : _____
商号又は名称 : _____
代表者氏名 : _____ 印

令和 6 年 4 月 23 日付で入札説明書等が公表されました「鎧畑及び田沢湖発電所大規模改良事業 06-DK-11」の公募に関し、守秘義務に関する誓約書の提出を条件とする開示資料について、提供を申し込みます。

| | |
|---------|--|
| 担当者 | |
| 部 署 | |
| 資料送付先住所 | |
| 電話番号 | |
| メールアドレス | |

以 上

(様式第 1-2 号) 守秘義務に関する誓約書

令和 6 年 月 日

鎧畑及び田沢湖発電所大規模改良事業
06-DK-11
守秘義務に関する誓約書

秋田県知事 佐竹 敬久 様

住 所 : _____
商号又は名称 : _____
代表者氏名 : _____ 印

当社は、令和 6 年 4 月 23 日付で入札説明書等が公表されました「鎧畑及び田沢湖発電所大規模改良事業 06-DK-11」(以下「本事業」といいます。)の公募に関し、秋田県(以下「県」といいます。)から、本事業の入札に関する検討を目的(以下「本目的」といいます。)として、本誓約書を提出した者に提供される資料(以下「守秘義務対象資料」といいます。)の提供を受けることを希望します。なお、守秘義務対象資料の提供を受けるに当たっては、下記事項を遵守し、秘密を保持することを誓約します。

記

第 1 条 (利用の目的)

- 1 当社は、本目的のためにのみ守秘義務対象資料の提供を受けるものであり、本目的以外の目的のために当該資料を利用しません。
- 2 当社は、本目的を達するため必要な範囲及び方法で、県に対して、別添の書式により、事前の書面による通知を行ったうえで、当社以外の第三者(以下「第二次被開示者」といいます。)に対して、守秘義務対象資料の全部又は一部を開示することができるものとします
- 3 当社は、自らの責任において、前二項の定めにより守秘義務対象資料の全部又は一部の開示を受けた者をして本誓約書に定める義務を遵守させるものとし、これらの者がかかる義務に違反した場合には、当社が本誓約書に違反したとみなされて責任を負うことを約束します。
- 4 当社は、守秘義務対象資料が参考のために提供されるものであり、県は、その内容の正確性について一切の責任を負わないことを承認します。

第 2 条 (秘密の保持)

当社は、県から提供を受けた守秘義務対象資料を秘密として保持するものとし、前条に定める場合のほか、第三者に対し開示しません。但し、法律、命令、条例等(以下「法令等」といいます。)により開示が義務づけられる場合はこの限りではありません。

第3条（善管注意義務）

当社は、県から提供を受けた守秘義務対象資料に含まれる情報が、県又は当該情報の提供者の業務上重要な情報であり、これが第三者に開示された場合には、県又は情報提供者の業務又は事業に重大な影響を与える可能性がある情報が含まれることを了解し、守秘義務対象資料を、善良な管理者としての注意をもって取り扱うことを約束します。

第4条（個人情報の取扱い）

県から提供を受けた守秘義務対象資料のうち個人情報に該当するものについては、法令等により県及び当社に認められる範囲内でのみ利用し、保持し、かつ、法令等により県及び当社に要求されるところに従い適切な管理を行うことを約束します。

第5条（損害賠償義務）

当社の本誓約書に違反する行為により守秘義務対象資料が漏洩した場合、当社は、それにより県又は第三者（県に対して守秘義務対象資料を提供した者を含みますがこれに限りません。）に生じた損害を直接賠償することを約束します。

第6条（期間、書類の破棄等）

- 1 当社は、受領した守秘義務対象資料を、令和7年3月31日までに、すべて破棄又は消去することを約束します。なお、本誓約書に基づく守秘義務その他の義務は、期間終了日以降も存続するものとします。
- 2 受領した守秘義務対象資料について、その全部又は一部の複製を行った場合（磁気ディスクその他の媒体への記録を含みます。）、期間終了日までにこれらを破棄又は消去することを約束します。但し、社内決裁資料に守秘義務対象資料に記載された情報が含まれ不可分一体となっている場合、及び、法令等により守秘義務対象資料に記載された情報を保持することが義務付けられている場合、当社は当該資料・情報等を破棄等することなく、当社において適切に保管することを約束します。

第7条（準拠法、管轄）

- 1 本誓約書は日本法に従って解釈されるものとします。
- 2 当社は、本誓約書に関連する一切の紛争については、秋田地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とすることに合意します。

(様式第 1-3 号) 第二次被開示者への資料開示通知書

令和 6 年 月 日

鎧畑及び田沢湖発電所大規模改良事業
06-DK-11
第二次被開示者への資料開示通知書

秋田県知事 佐竹 敬久 様

住 所 : _____
商号又は名称 : _____
代表者氏名 : _____ 印

令和 6 年 4 月 23 日付で入札説明書等が公表されました「鎧畑及び田沢湖発電所大規模改良事業 06-DK-11」の守秘義務対象資料について、当社から以下の者（以下「第二次被開示者」といいます。）に対して資料を開示しますので通知いたします。

なお、当社は、第二次被開示者に対し、当社が県に対して誓約している守秘義務と同等又はそれ以上の義務を負わせたうえで、資料を開示することを約束いたします。

第二次被開示者

| | |
|--------|--|
| 住所 | |
| 商号又は名称 | |
| 代表者氏名 | |

| | |
|--------|--|
| 住所 | |
| 商号又は名称 | |
| 代表者氏名 | |

| | |
|--------|--|
| 住所 | |
| 商号又は名称 | |
| 代表者氏名 | |

※必要に応じて表を追加すること。

枚目 / 枚中

2 入札説明書等に関する質問書に関する提出書類

(様式第2号) 質問書

※ 本様式は Microsoft Excel 形式を参照のこと。

3 参加表明及び参加資格確認申請等に関する提出書類

(様式第 3-1-1 号) 参加表明書

令和 6 年 月 日

参加表明書

秋田県知事 佐竹敬久様

入札参加者：共同企業体の名称 _____
代表者 住 所： _____
商号又は名称： _____
代表者氏名： _____ 印

当社は、秋田県から令和 6 年 4 月 23 日付で公告がありました「鎧畑及び田沢湖発電所大規模改良事業 06-DK-11」(以下「本事業」という。)に係る総合評価一般競争入札への参加を表明します。

なお、次の入札参加者及び入札参加者の親会社又は子会社は、当時に当該他の入札参加者として本事業に参加しないことを誓約します。

(代表者)

| | |
|--------|--|
| 商号又は名称 | |
| 所在地 | |
| 代表者氏名 | |

印

(構成員)

| | |
|--------|--|
| 商号又は名称 | |
| 所在地 | |
| 代表者氏名 | |

印

(構成員)

| | |
|--------|--|
| 商号又は名称 | |
| 所在地 | |
| 代表者氏名 | |

印

注 1 単独企業で応募する場合には、「共同企業体の名称」の欄に、当該企業の名称を記載してください。

注 2 単独企業で応募する場合には、上記の表を修正して使用ください。

注 3 記入欄が足りない場合は適宜、本様式に準じて作成・追加してください。

(様式第 3-1-2 号) 入札参加者の構成及び役割分担表

令和 6 年 月 日

入札参加者の構成及び役割分担表

(代表者)

| | | | |
|------------------------|---|--|---|
| 商号又は名称 所在地 代表者氏名 | | | 印 |
| 担当者 | 所属・役職 氏名 電話番号 メールアドレス | | |
| 本事業における役割 | 調査・設計業務／建設業務（水車、発電機等の納入以外）／ 建設業務（水車、発電機等の納入） | | |
| 出資比率 | | | |

(構成員)

| | | | |
|------------------------|---|--|---|
| 商号又は名称 所在地 代表者氏名 | | | 印 |
| 担当者 | 所属・役職 氏名 電話番号 メールアドレス | | |
| 本事業における役割 | 調査・設計業務／建設業務（水車、発電機等の納入以外）／ 建設業務（水車、発電機等の納入） | | |
| 出資比率 | | | |

(構成員)

| | | | |
|------------------------|---|--|---|
| 商号又は名称 所在地 代表者氏名 | | | 印 |
| 担当者 | 所属・役職 氏名 電話番号 メールアドレス | | |
| 本事業における役割 | 調査・設計業務／建設業務（水車、発電機等の納入以外）／ 建設業務（水車、発電機等の納入） | | |
| 出資比率 | | | |

枚目／ 枚中

- 注1 本事業における役割については、入札説明書を踏まえ、具体的に記載してください。また発電所によって役割が異なる場合は、発電所別に具体的に記載してください。なお、1つの業務を複数の企業で分担する場合は、分担する業務内容についても記載してください。
- 注2 水車、発電機等を納入する場合は、水車、発電機、制御盤のうち、何を納入するかを記載してください。
- 注3 単独企業で参加する場合には、構成員の表を削除の上、一番上の「(代表者)」の表記、表の中の「本工事における役割」及び「出資比率」の行も削除して使用ください。
- 注4 共同企業体で参加する場合、代表者の出資比率が構成員中最大であること、建設業務を実施する者は建設業務を実施する者の均等割の10分の6以上の出資が必要であることを満たしてください。
- 注5 記入欄が足りない場合は適宜、本様式に準じて作成・追加してください。

(様式第 3-1-3 号) 委任状

令和 6 年 月 日

委任状
(各構成員から共同企業体の代表者への委任状)

| | | |
|--------------|------------------------|---|
| 委任者 (構成員) | 商号又は名称 所在地 代表者氏名 | 印 |
| 委任者 (構成員) | 商号又は名称 所在地 代表者氏名 | 印 |
| 委任者 (構成員) | 商号又は名称 所在地 代表者氏名 | 印 |
| | | |

私は、次の企業を入札参加者の代表者とし、「鎧畑及び田沢湖発電所大規模改良事業 06-DK-11」
に関し、次の権限を委任します。

| | |
|--------------|---|
| 受任者 (代表者) | 商号又は名称 所在地 代表者氏名 |
| 委任事項 | 1 総合評価一般競争入札への参加表明に関する件 2 参加資格確認申請に関する件 3 入札辞退に関する件 4 入札書等と提案審査書類の提出及び提案に関する件 5 復代理人の選任及び解任に関する件 6 上記各項に附帯する一切の件 |

枚目 / 枚中

注 記入欄が足りない場合は適宜、本様式に準じて作成・追加してください。

(様式第 3-2-1 号) 参加資格確認申請書

令和 6 年 月 日

参加資格確認申請書

秋田県知事 佐竹 敬久 様

共同企業体名 : _____
共同企業体構成員 _____
所在地 : _____
商号又は名称 : _____
代表者氏名 : _____ 印

令和 6 年 4 月 23 日付で公告がありました「鎧畑及び田沢湖発電所大規模改良事業 06-DK-11」に係る参加資格要件について確認されたく、本書及び必要な関係書類を提出します。

当社は、入札説明書に定められた参加資格要件を全て満たしていること、並びにこの申請書及び関係書類の内容については、事実と相違ないことを誓約します。

注 1 代表者氏名及び印鑑は、参加表明書に添付する印鑑証明書と一致するものとしてください。

注 2 共同企業体で応募する場合には、企業ごとに別葉としてください。

注 3 単独企業で応募する場合には、本頁右上の共同企業体名の記入欄及びその下の「共同企業体構成員」の文言を削除して使用ください。

枚目 / 枚中

暴力団排除に係る誓約書

秋田県知事 佐竹 敬久 様

住 所

商号又は名称

代表者氏名

印

当社は、「鎧畑及び田沢湖発電所大規模改良事業 06-DK-11」に係る総合評価一般競争入札への参加にあたり、秋田県暴力団排除条例（平成 23 年秋田県条例第 29 号。以下「条例」という。）を遵守し、下記のとおり誓約するとともに、今後も下記 1 ないし 6 の各項に該当することを誓約します。

なお、この誓約に違反した場合は、貴県から参加資格の取消、入札参加停止、契約解除等のいかなる措置を受け、かつ、その事実を公表されても異存ありません。

また、秋田県知事が警察署長に下記 1 及び 2 に関して意見照会すること並びに警察署長から得た情報を秋田県の他の事務又は事業において暴力団を利することとならないように利用することについて同意します。

記

- 1 役員等（入札参加者の役員又はその支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者等をいう。以下同じ。）が暴力団員（条例第 2 条第 2 項に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であると認められる者でないこと。
- 2 暴力団（条例第 2 条に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員が経営に実質的に関与していると認められる者でないこと。
- 3 役員等が自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしたと認められる者でないこと。
- 4 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与していると認められる者でないこと。
- 5 役員等が暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められる者でないこと。
- 6 前項に違反したときには、契約の解除、違約金の請求その他の秋田県知事が行う一切の措置について異議を述べないこと。

以上

注 企業ごとに作成し、様式番号に枝番を付加してください（例 様式第 3-2-2-1、3-2-2-2）。

(様式第 3-2-3 号) 役員名簿

令和 6 年 月 日

役員名簿

秋田県知事 佐竹 敬久 様

共同企業体名 : _____
共同企業体構成員 _____
所在地 : _____
商号又は名称 : _____
代表者氏名 : _____ 印

| (フリガナ) 氏名 | 生年月日 | 性別 | 備考 (役職名等) |
|--------------|-------|-----|-----------|
| | 年 月 日 | 男・女 | |
| | 年 月 日 | 男・女 | |
| | 年 月 日 | 男・女 | |
| | 年 月 日 | 男・女 | |
| | 年 月 日 | 男・女 | |
| | 年 月 日 | 男・女 | |
| | 年 月 日 | 男・女 | |
| | 年 月 日 | 男・女 | |
| | 年 月 日 | 男・女 | |

- 注 1 企業ごとに本様式を作成し、様式番号に枝番を付加してください (例 様式第 3-2-3-1、3-2-3-2)。
注 2 役員等とは、監査役 (常勤・非常勤問わず) や社外取締役・社外監査役も含む、現在事項全部証明書に記載のある全ての者を指します。
注 3 行が不足する場合は、適宜、行を挿入して記入してください。
注 4 単独企業で応募する場合には、本頁右上の共同企業体名の記入欄及びその下の「共同企業体構成員」の文言を削除して使用ください。

(様式第 3-3-1 号) 建設に関する個別参加資格要件確認書

建設に関する個別参加資格要件確認書

| | |
|-------------------------|---------------------|
| 共同企業体名 | (共同企業体を構成する場合) |
| 商号又は名称 | |
| 所在地 | |
| 代表者氏名 | |
| 種別 | 代表者 ・ 構成員 (代表者以外) |
| 本事業における担当内容 | |
| 秋田県一般競争入札参加資格者名簿許可番号 | 登録済み (番号:) ・ 登録申請中 |
| 特定建設業許可番号 ^{注4} | (許可年月日: ○年○月○日) |
| 出資比率 | (共同企業体を構成する場合) |

■入札説明書 第2章 2 (2) ウの参加資格要件

| | | | |
|--------------------|---------------------|-------------|----------------------|
| 工事名 | | | |
| 発注者名 | | | |
| 工事場所 | | | |
| 契約金額 | 円 | | |
| 受注形態 | 単体企業/共同企業体 (出資比率 %) | | |
| 契約日 | 年 月 日 | 工期 | 年 月 日 から 年 月 日 まで |
| 発電最大出力 | kW | | |
| 工事概要 ^{注5} | | | |
| その他 | | | |
| CORINS 登録有無 | 有/無 | CORINS 登録番号 | (CORINS 登録がある場合) |

■入札説明書 第2章 2 (2) エの参加資格要件

| | |
|------------------------|--|
| 専任で配置する 監理技術者 | |
| 当該監理技術者を雇用している者の商号又は名称 | |
| 当該監理技術者の雇用期間 | |
| 当該監理技術者の資格 | |

■入札説明書 第2章 2（2）オの参加資格要件

| | |
|------------------------|--|
| 専任で配置する主任技術者 | |
| 当該主任技術者を雇用している者の商号又は名称 | |
| 当該主任技術者の雇用期間 | |
| 当該主任技術者の資格 | |

- 注1 建設業務を担う者が複数存する場合、企業ごとに本様式及び添付書類をまとめて作成し、様式番号に枝番を付加してください（例 様式第3-3-1-1、3-3-1-2）。
- 注2 単独企業で参加する場合には、「入札説明書 第2章 2（2）ウの参加資格要件」及び「入札説明書 第2章 2（2）エの参加資格要件」を記載してください。また、「共同企業体名」及び「出資比率」の行は削除してください。
- 注3 共同企業体で参加する場合には、代表者は「入札説明書 第2章 2（2）ウの参加資格要件」、「入札説明書 第2章 2（2）エの参加資格要件」を記載し、代表者以外の構成員は「入札説明書 第2章 2（2）オの参加資格要件」を記載してください。
- 注4 建設業法（昭和24年法律第100号）第3条第1項の規定により、土木工事に係る特定建設業の許可を受けた者であることを証する書類を添付してください。
- 注5 入札参加資格とされている実績であることが的確に判断できるよう、具体的に記載してください。
- 注6 実績として記載した工事の請負契約書及び設計図書等（金抜き設計書、設計図面、特記仕様書等）の写しを添付してください。ただし、CORINSに登録しその内容が確認できる場合、添付は不要です。（CORINS登録番号を記載してください。）
- 注7 実績として記載した工事の受注形態が共同企業体の場合、出資比率が20%以上の場合のみ実績として認めるため、協定書の写しを添付してください。
- 注8 監理技術者及び主任技術者の法令による資格については、当該資格を証する書類を添付してください。また、監理技術者について、監理技術者資格証及び監理技術者講習修了履歴の写しを添付してください。
- 注9 監理技術者及び主任技術者について、直接的かつ連続して3ヶ月以上の雇用関係があることを証明する健康保険被保険者証等の写しを添付してください。
- 注10 配置予定の監理技術者及び主任技術者を確定しきれない場合、複数の候補者分を提出してください。（ただし、実際に配置するのは当該候補者の中から配置してください。）

(様式第 3-3-2 号) 調査・設計に関する個別参加資格要件確認書

調査・設計に関する個別参加資格確認書書類

| | |
|--------------------------|------------------|
| 共同企業体名 | (共同企業体を構成する場合) |
| 商号又は名称 | |
| 所在地 | |
| 代表者氏名 | |
| 本事業における担当内容 | |
| 秋田県一般競争入札 参加資格者名簿許可番号 | 登録済み(番号:)・登録申請中 |

注1 調査・設計業務を担う者が複数存する場合、企業ごとに本様式を作成し、様式番号に枝番を付加してください(例 様式第 3-3-2-1、3-3-2-2)。

注2 単独企業で参加する場合には、「共同企業体名」の行は削除してください。

注3 建設コンサルタント登録規程(昭和52年建設省告示第717号)第2条第1項の規定により、電力土木部門の登録を受けた者であることを証する書類を添付してください。

(様式第 3-3-3 号) 水車、発電機等を納入する者の参加資格要件確認書

水車、発電機等を納入する者の参加資格要件確認書

| | |
|---------------------------|---------------------|
| 共同企業体名 | (共同企業体を構成する場合) |
| 商号又は名称 | |
| 所在地 | |
| 代表者氏名 | |
| 種別 | 代表者 ・ 構成員 (代表者以外) |
| 本事業における担当内容 ^{注3} | |
| 秋田県一般競争入札参加資格者名簿許可番号 | 登録済み (番号:) ・ 登録申請中 |
| 特定建設業許可番号 ^{注4} | (許可年月日: ○年○月○日) |

■入札説明書 第2章 2 (4) イ (ウ) の参加資格要件

| | |
|----------------------------|--|
| 専任で配置する 監理技術者 | |
| 当該監理技術者を雇用して いる者の商号又は名称 | |
| 当該監理技術者の雇用期間 | |
| 当該監理技術者の資格 | |

注1 水車、発電機等を納入する者が複数存する場合、企業ごとに本様式及び添付書類をまとめて作成し、様式番号に枝番を付加してください (例 様式第 3-3-3-1、3-3-3-2)。

注2 単独企業で参加する場合には、「共同企業体名」の行は削除してください。

注3 水車、発電機、制御盤のうち、何を納入するかについては、必ず記載してください。

注4 建設業法 (昭和 24 年法律第 100 号) 第 3 条第 1 項の規定により、電気工事に係る特定建設業の許可を受けた者であることを証する書類を添付してください。

注5 監理技術者の法令による資格については、当該資格を証する書類を添付してください。また、監理技術者資格証及び監理技術者講習修了履歴の写しを添付してください。

注6 監理技術者について、直接的かつ連続して 3 ヶ月以上の雇用関係があることを証明する健康保険被保険者証等の写しを添付してください。

注7 配置予定の監理技術者を確定しきれない場合、複数の候補者分を提出してください。(ただし、実際に配置するのは当該候補者の中から配置してください。)

注8 本様式は、水車・発電機等を納入する者を入札参加者に含める場合に提出してください。水車・発電機等を納入する者を協力企業に含める場合、本様式の提出は不要です。

- 注1 「(代表者名)」には、参加を確約する入札参加者の代表者の商号又は名称を記入してください。
- 注2 参加を確約する入札参加者が単独企業で参加する場合には、「(代表者名)」に当該企業の商号又は名称を記入して使用ください。
- 注3 (1)の欄では、納入する水車、発電機、制御盤の□にチェック (☑) を入れてください。
- 注4 (2)の欄では、(1)でチェックした水車、発電機等を納入する際に、果たす役割をア～ウから選択し、該当する□にチェック (☑) を入れてください。
- 注5 (3)の欄では、(2)でイ又はウを選択した場合に、当該水車、発電機等を製作する事業者の商号又は名称を記載してください。水車、発電機等を製作する者が、同一の事業者でない場合は、当該水車、発電機等ごとに製作する事業者名を記載してください。

4 対面式対話に関する提出書類

(様式第 4-1 号) 対面式対話参加申込書

※ 本様式は Microsoft Excel 形式を参照のこと。

(様式第 4-2 号) 対面式対話における質問書

※ 本様式は Microsoft Excel 形式を参照のこと。

5 入札時の提出書類

(1) 入札書等

(様式第 5-1-1 号) 入札書

入 札 書

令和 6 年 月 日

契約担当者 秋田県知事 佐竹 敬久 あて

| | |
|------------------------|----------|
| 住 所 商号又は名称 代表者氏名 | 印 (代表者印) |
|------------------------|----------|

次のとおり入札します。

| | |
|----------|------------------------------|
| 入札に付する事項 | 鎧畑及び田沢湖発電所大規模改良事業 (06-DK-11) |
| 入 札 金 額 | ¥ |

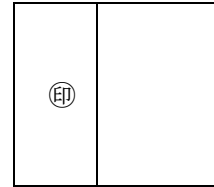
参考：当該金額に 10/100 に相当する額を加算した金額が法律上の入札価格である。

(様式第 5-1-2 号) 委任状

委 任 状

令和 6 年 月 日

契約担当者 秋田県知事 佐竹 敬久 あて



私は (受任者住所氏名)

を代理人と定め

(入札に付する事項) 鎧畑及び田沢湖発電所大規模改良事業 (06-DK-11) の

入札書等及び提案審査書類の提出を委任します。

委任者 住 所
商号又は名称
代表者氏名

印

(様式第 5-1-3 号) 事業費内訳書

※ 本様式は Microsoft Excel 形式を参照のこと。

(2) 提案審查書類提出届等

(様式第 5-2-1 号) 提案審査書類提出届

令和 6 年 月 日

提案審査書類提出届

秋田県知事 佐竹 敬久 様

入札参加者：共同企業体の名称 _____
代表者 住 所： _____
商号又は名称： _____
代表者氏名： _____ 印

令和 6 年（2024年）4 月 23 日付で入札公告のありました「鑑畑及び田沢湖発電所大規模改良事業 06-DK-11」の入札説明書に基づき、提案審査書類を提出します。

なお、提案審査書類の記載事項及び添付書類について、事実と相違ないことを誓約します。

| | |
|---------|--|
| 担当者 所属 | |
| 担当者 氏名 | |
| 電話番号 | |
| メールアドレス | |

登録記号

(様式第 5-2-2 号) 提案確認書

令和6年 月 日

提案確認書

| 必要書類 | 部数 | 入札参加者 確認 | 県 確認 |
|--|-----------------|-------------|---------|
| (2) 提案審査書類提出届等 | | | |
| (様式第5-2-1号) 提案審査書類提出届 | 1部 | | |
| (様式第5-2-2号) 提案確認書 | | | |
| (様式第5-2-3号) 業務要求水準に関する誓約書 | | | |
| (様式第5-2-4号) 基礎項目審査確認リスト (鎧畑発電所) | | | |
| (様式第5-2-5号) 基礎項目審査確認リスト (田沢湖発電所) | | | |
| (3) 技術提案書 | | | |
| ア 事業全体に関する提案書 | | | |
| (様式第A-1号) 事業全体方針 | 正本 1部 副本 12部 | | |
| (様式第A-2号) 事業実施体制 | | | |
| (様式第A-2号の添付資料) 配置予定技術者の実績に関する書類 (※CORINSに登録されていない技術者のみ) | | | |
| (様式第A-3-1号) 事業スケジュール【鎧畑】 | | | |
| (様式第A-3-2号) 事業スケジュール【田沢湖】 | | | |
| (様式第A-4号) 発注者業務の軽減策及びリスク対応策 | | | |
| (様式第A-5号) 地域貢献策 | | | |
| (様式第A-6号) 賃金水準の向上 | | | |
| イ 設計施工に関する提案書 (鎧畑発電所) | | | |
| (様式第B-1-1号) 発電設備の全体計画 | 正本 1部 副本 12部 | | |
| (様式第B-2-1号) 発電設備能力及び発電電力量の向上 | | | |
| (様式第B-3-1号) 維持管理の簡素化及び運転管理費の縮減に資する方策 | | | |
| (様式第B-4-1号) 長期修繕計画 | | | |
| (様式第B-4-3号) 長期修繕計画 (予備品及び付属品の納入計画) | | | |
| (様式第B-5-1号) 施工計画 | | | |
| (様式第B-6-1号) 引渡し後のアフターサービス | | | |
| イ 設計施工に関する提案書 (田沢湖発電所) | | | |
| (様式第B-1-2号) 発電設備の全体計画 | 正本 1部 副本 12部 | | |
| (様式第B-2-2号) 発電設備能力及び発電電力量の向上 | | | |
| (様式第B-3-2号) 維持管理の簡素化及び運転管理費の縮減に資する方策 | | | |
| (様式第B-4-2号) 長期修繕計画 | | | |
| (様式第B-4-4号) 長期修繕計画 (予備品及び付属品の納入計画) | | | |
| (様式第B-5-2号) 施工計画 | | | |
| (様式第B-6-2号) 引渡し後のアフターサービス | | | |
| ウ 施設計画図面集 (鎧畑発電所) | | | |
| (図面 1) 発電計画の概要 (発電諸元) | 正本 1部 副本 12部 | | |
| (図面 2) 土木・建築 (位置図) | | | |
| (図面 3) 土木・建築 (発電所敷地図) | | | |
| (図面 4) 土木・建築 (平面図) | | | |
| (図面 5) 土木・建築 (断面図) | | | |

| | |
|------|--|
| 登録記号 | |
|------|--|

| 必要書類 | 部数 | 入札参加者確認 | 県確認 |
|-----------------------------------|-------------------|---------|-----|
| (図面 6) 土木・建築 (構造図) | | | |
| (図面 7) 土木・建築 (仮設計画図) | | | |
| (図面 8) 水車発電機 (外形図) | | | |
| (図面 9) 水車発電機 (構造図) | | | |
| (図面 10) 水車発電機 (平面図) | | | |
| (図面 11) 電気設備 (単線結線図) | | | |
| (図面 12) 電気設備 (平面図・断面図) | | | |
| ウ 施設計画図面集 (田沢湖発電所) | | | |
| (図面 1) 発電計画の概要 (発電諸元) | 正本 1 部 副本 12 部 | | |
| (図面 2) 土木・建築 (位置図) | | | |
| (図面 3) 土木・建築 (発電所敷地図) | | | |
| (図面 4) 土木・建築 (平面図) | | | |
| (図面 5) 土木・建築 (断面図) | | | |
| (図面 6) 土木・建築 (構造図) | | | |
| (図面 7) 土木・建築 (仮設計画図) | | | |
| (図面 8) 水車発電機 (外形図) | | | |
| (図面 9) 水車発電機 (構造図) | | | |
| (図面 10) 水車発電機 (平面図) | | | |
| (図面 11) 電気設備 (単線結線図) | | | |
| (図面 12) 電気設備 (平面図・断面図) | | | |
| (4) 接続検討申込に必要な書類 (鎧畑発電所) | | | |
| (様式第 5-4-1 号) 発電機仕様 (同期機) | 正本 1 部 副本 12 部 | | |
| (様式第 5-4-2 号) 保護リレー | | | |
| (様式第 5-4-3 号) 変圧器および線路 | | | |
| (様式第 5-4-4 号) 受電設備および負荷設備 | | | |
| (様式第 5-4-5 号) 高調波流出電流計算書 | | | |
| (様式第 5-4-6 号) 発電機制御系ブロック図 (励磁系) | | | |
| (様式第 5-4-7 号) 発電機制御系ブロック図 (ガバナ系) | | | |
| (様式第 5-4-8 号) 発電機の飽和特性 | | | |
| (様式第 5-4-9 号) 設備配置関連 (主要設備レイアウト図) | | | |
| (様式第 5-4-10 号) 保護リレーブロック図 | | | |
| (様式第 5-4-11 号) 制御回路電源図 | | | |
| (様式第 5-4-12 号) インピーダンスマップ | | | |
| (様式第 5-4-13 号) 変圧器励磁特性曲線 | | | |
| (様式第 5-4-14 号) 変圧器励磁特性 | | | |
| (様式第 5-4-15 号) 発電機出力制御に関する資料 | | | |
| (様式第 5-4-16 号) 保護装置の取扱説明書 | | | |
| (4) 接続検討申込に必要な書類 (田沢湖発電所) | | | |
| (様式第 5-4-1 号) 発電機仕様 (同期機) | 正本 1 部 副本 12 部 | | |
| (様式第 5-4-2 号) 保護リレー | | | |
| (様式第 5-4-3 号) 変圧器および線路 | | | |
| (様式第 5-4-4 号) 受電設備および負荷設備 | | | |
| (様式第 5-4-5 号) 高調波流出電流計算書 | | | |
| (様式第 5-4-6 号) 発電機制御系ブロック図 (励磁系) | | | |
| (様式第 5-4-7 号) 発電機制御系ブロック図 (ガバナ系) | | | |
| (様式第 5-4-8 号) 発電機の飽和特性 | | | |

| | |
|------|--|
| 登録記号 | |
|------|--|

| 必要書類 | 部数 | 入札参加者確認 | 県確認 |
|-----------------------------------|----|---------|-----|
| (様式第 5-4-9 号) 設備配置関連 (主要設備レイアウト図) | | | |
| (様式第 5-4-10 号) 保護リレーブロック図 | | | |
| (様式第 5-4-11 号) 制御回路電源図 | | | |
| (様式第 5-4-12 号) インピーダンスマップ | | | |
| (様式第 5-4-13 号) 変圧器励磁特性曲線 | | | |
| (様式第 5-4-14 号) 変圧器励磁特性 | | | |
| (様式第 5-4-15 号) 発電機の出力制御に関する資料 | | | |
| (様式第 5-4-16 号) 保護装置の取扱説明書 | | | |

注 必要書類が必要部数そろっていることを確認したうえで、入札参加者確認の欄に○印を記入すること（県確認欄は、県が使用する）。

| | |
|------|--|
| 登録記号 | |
|------|--|

(様式第 5-2-3 号) 業務要求水準に関する誓約書

令和 6 年 月 日

業務要求水準に関する誓約書

秋田県知事 佐竹 敬久 様

入札参加者：共同企業体の名称 _____
代表者住所： _____
商号又は名称： _____
代表者氏名： _____ 印

令和 6 年（2024 年）4 月 23 日付で入札公告のありました「鎧畑及び田沢湖発電所大規模改良事業 06-DK-11」についての技術提案書の内容は、入札説明書等に定められている業務要求水準と同等又はそれ以上の水準であることを誓約します。

担当者氏名：

| | |
|------|--|
| 登録記号 | |
|------|--|

(様式第 5-2-4 号) 基礎項目審査確認リスト (鎧畑発電所)

基礎項目審査確認リスト (鎧畑発電所)

| 項目 | 確認事項 (鎧畑発電所) | 記載様式 | 入札参加者 確認 | 県 確認 |
|--------------|---|------|-------------------|---------|
| 配置予定 技術者 | ・ 管理技術者は、技術士資格の内、建設部門又は総合技術監理部門のいずれかの資格を有しているか。また照査技術者を兼ねていないか。 | | | |
| | ・ 照査技術者は、技術士資格の内、建設部門又は総合技術監理部門のいずれかの資格又は、技術士同等又はRCCMのいずれかの資格有しているか。 | | | |
| | ・ 発電所建屋の設計及び工事監理において、一級建築士の資格を有するものを配置しているか。また設計担当と工事監理担当を兼ねていないか。 | | | |
| 施工体制 | ・ 建設業法に定める現場代理人、主任技術者又は監理技術者、監理技術者補佐、専門技術者を選任しているか。 | | | |
| 事業スケジ ュール | ・ 令和7年度中にFIP制度の認定取得が可能な工程になっているか。 | | | |
| | ・ FIP制度の認定取得日の翌日から2年以内に既設の発電所を廃止し、7年以内に運転再開する工程になっているか。 | | | |
| | ・ 令和14年3月10日までの工程となっているか。 | | | |
| 設備能力 | ・ 水圧鉄管は2条から1条にする計画であるか。 | | | |
| | ・ 最大使用水量は、35m ³ /sであるか。 | | m ³ /s | |
| | ・ 最大出力は15,700kWであるか。 | | kW | |
| | ・ 年間可能発電電力量は、64,818MWh以上を確保できる発電計画であるか。 | | MWh/年 | |
| 発電設備 全般 | ・ 発電所敷地内に、見学設備 (室内もしくは屋根付き) を設置しているか。 | | | |
| | ・ 納入機器は、メンテナンス体制 (速やかな部品供給を含む) が国内で整っているか。 | | | |
| 取水設備 | ・ 仮締め切り、スクリーン・取水口ゲート (戸当り・巻上機含む) の撤去・新設は、鎧畑ダム下限水位の実施可能期間内 (11~2月) に行う工程になっているか。 | | | |
| | ・ 保守管理を考慮した可搬型発電機の設置場所及び容易な電源の接続方法を想定して、必要な設備を設置する提案となっているか。 | | | |

| | |
|------|--|
| 登録記号 | |
|------|--|

| 項目 | 確認事項（鎧畑発電所） | 記載様式 | 入札参加者 確認 | 県 確認 |
|-----------------------------|--|------|-------------|---------|
| 導水路 | ・ 断面形状は既設同等とし、全延長及び断面全周（ただし、導水路外面の埋設部は除く）に渡りFIP制度新設区分が認められる改修を行う提案となっているか。 | | | |
| | ・ 改修工法は、耐久性及び保守管理の優れた工法を提案しているか。 | | | |
| 調圧水槽 | ・ 全撤去せず、FIP制度新設区分が認められる水槽内外面の表面打替え（ただし、水槽外面の埋設部は除く）の改修（樹脂塗布・コンクリート吹付等の表面保護を図るものは不可）を行う提案となっているか。 | | | |
| 水圧管路 (導水路の 排水管含 む) | ・ 水圧鉄管は2条から1条にしたルートでの提案となっているか。 | | | |
| | ・ 既設の3号機用の水圧鉄管を更新後の水圧鉄管に接続させる提案となっているか。 | | | |
| 発電所建屋 | ・ レイアウトは、見学者対応の内容（施設案内関連、見学時の安全対策関連、想定する見学会の概要）を踏まえているか。 | | | |
| | ・ 発電所基礎・建屋は、新たに設置される発電設備の保守管理ならびに屋外にある一般送配電事業者の既設の受電設備との離隔を考慮した配置を提案しているか。 | | | |
| | ・ 新設する発電所建屋は、各発電設備の設置に必要な諸室のほか、要求水準書で定める諸室等（※）を設ける提案となっているか。 ※打合せスペース、女子更衣室、関連設備設置スペース、書庫スペース、倉庫、男女別トイレ | | | |
| | ・ 現在、別棟に設置されている鎧畑発電所及び玉川発電事務所の予備電源装置及び無停電電源装置を機能統合（1台化）したうえで更新し、新たな発電所建屋に設置する提案となっているか。 | | | |
| 放水路 | ・ 発電所建屋を既設とは別位置に新設する場合は、放水路も新設する提案となっているか。 | | | |
| | ・ 発電所建屋を既設位置とする場合は、FIP制度新設区分に該当する放水路の改修を行う提案となっているか。 | | | |
| | ・ 放水路ゲートは、設置によるメリット（容易な点検、暗渠化＝ゲート越流に | | | |

| | |
|------|--|
| 登録記号 | |
|------|--|

| 項目 | 確認事項（鎧畑発電所） | 記載様式 | 入札参加者 確認 | 県 確認 |
|----------------|---|------|-------------|---------|
| | よる土砂流入防止）・デメリット（含む 発電運転期間中の経済的優位性）を踏 まえて設置の有無を提案しているか。 | | | |
| 水車 | ・ 水車台数は、1台に集約する提案とな っているか。 | | | |
| | ・ 最大使用水量の40%未満でも運転可 能な水車を選定しているか。 | | | |
| | ・ 水車選定にあたっては、鎧畑ダムの貯 水池運用実績を基に合理的な基準水 位、及び運用方法を検討のうえ、最も 効率の優れる機器を選定しているか。 | | | |
| 発電機 | ・ 発電機台数は、1台に集約する計画で あるか。 | | | |
| | ・ 発電機形式は三相同期発電機である か。 | | | |
| | ・ 周波数は50Hzであるか。 | | | |
| | ・ 励磁方式はブラシレス方式であるか。 | | | |
| | ・ 発電機及び軸受の冷却方式は、機器の 簡素化、保守管理の省力化を図る提案 となっているか。 | | | |
| 配電盤 | ・ 発電所は、随時監視制御方式（遠隔自 動制御）であり、発電所で直接制御が できる提案となっているか。 | | | |
| | ・ 汎用品以外の制御基板や電源装置は、 予備品を全種類納入する提案となっ ているか。 | | | |
| 変電所 | ・ 系統側の事故により、系統と切り離さ れた場合、自主復旧が可能な設備であ るか。 | | | |
| 諸機械装置 | ・ 天井クレーンは、発電設備（水車発電 機等）の保守を支障なく実施できるよ う、定格荷重、揚程等を決定している か。 | | | |
| その他設備 | ・ 取水設備までのアクセス区間内にある 橋梁（水明橋）は、当該橋梁に荷重 負荷をかけることがないように必要な 仮設、もしくは運搬重量の低減（部材 分割）等による対応を提案している か。また、仮設橋梁を設置した場合は、 工事完了後に撤去する提案となってい るか。 | | | |
| その他設備 （カメラ） | ・ ネットワークカメラは、当該発電設備 （※）の全体が可視できる位置と台数 を提案しているか。 ※屋外特高機器、鉄構、発電所周辺（放 水路、水圧鉄管露出部含む）、調圧水 槽、水車発電機（補機類含む）、配電盤、 キュービクル | | | |

| | |
|------|--|
| 登録記号 | |
|------|--|

| 項目 | 確認事項（鎧畑発電所） | 記載様式 | 入札参加者 確認 | 県 確認 |
|------------|---|------|-------------|---------|
| 試運転の 実施 | <ul style="list-style-type: none"> 各種検査前において、機器調整及び無水・有水試験を概ね令和13年12月末まで実施する工程となっているか。 | | | |

注 上記確認事項は主な要求水準であり、要求水準書において求める要求は全て満足すること。

| | |
|------|--|
| 登録記号 | |
|------|--|

(様式第 5-2-5 号) 基礎項目審査確認リスト (田沢湖発電所)

基礎項目審査確認リスト (田沢湖発電所)

| 項目 | 確認事項 (田沢湖発電所) | 記載様式 | 入札参加者確認 | 県確認 |
|----------|--|------|---------|-----|
| 配置予定技術者 | ・ 管理技術者は、技術士資格の内、建設部門又は総合技術監理部門のいずれかの資格を有しているか。また照査技術者を兼ねていないか。 | | | |
| | ・ 照査技術者は、技術士資格の内、建設部門又は総合技術監理部門のいずれかの資格又は、技術士同等又はRCCMのいずれかの資格有しているか。 | | | |
| | ・ 発電所建屋の設計及び工事監理において、一級建築士の資格を有するものを 1 名配置しているか。また設計担当と工事監理担当を兼ねていないか。 | | | |
| 施工体制 | ・ 建設業法に定める現場代理人、主任技術者又は監理技術者、監理技術者補佐、専門技術者を選任しているか。 | | | |
| 事業スケジュール | ・ 令和 7 年度中にFIP制度の認定取得が可能な工程になっているか。 | | | |
| | ・ FIP制度の認定取得日の翌日から 2 年以内に既設の発電所を廃止し、7 年以内に運転再開する工程になっているか。 | | | |
| | ・ 令和14年 3 月 10 日までの工程となっているか。 | | | |
| 設備能力 | ・ FIP終了後は5,000kW以上で運転できる設備能力であるか。 | | MWh | |
| | ・ 年間可能発電電力は、24,397MWh以上を確保できる発電計画であるか。 | | | |
| 発電設備全般 | ・ 発電所敷地内に、見学設備 (室内もしくは屋根付き) を設置しているか。 | | | |
| | ・ 納入機器は、メンテナンス体制 (速やかな部品供給を含む) が国内で整っているか。 | | | |
| ダム | ・ FIP制度新設区分が認められる改修 (堤体の安定度を 1 % 以上変更する改良を原則とする) を実施する提案となっているか。 | | | |
| | ・ スクリーンの除塵対策について、現状の作業負荷が軽減され | | | |

| | |
|------|--|
| 登録記号 | |
|------|--|

| 項目 | 確認事項（田沢湖発電所） | 記載様式 | 入札参加者確認 | 県確認 |
|---------|---|------|---------|-----|
| | <ul style="list-style-type: none"> することに繋がる対策を提案しているか。 | | | |
| 水圧管路 | <ul style="list-style-type: none"> 水圧管径は、最大水量35m³/sを前提条件とした上で、最適な管径を選定しているか。 | | | |
| 発電所建屋 | <ul style="list-style-type: none"> レイアウトは、見学者対応の内容（施設案内関連、見学時の安全対策関連、想定する見学会の概要）を踏まえているか。 | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 新設する発電所建屋は、各発電設備の設置に必要な諸室のほか、要求水準書で定める諸室等（※）を設ける提案となっているか。 <p>※打合せスペース、女子更衣室、休憩室、書庫スペース、倉庫、男女別トイレ</p> | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 浸水対策に加えて十分な排水設備を備える計画が提案されているか。 | | | |
| 調圧水槽 | <ul style="list-style-type: none"> 全撤去せず、FIP制度新設区分が認められる水槽内外面の表面打替え（ただし、水槽外面の埋設部は除く）の改修（樹脂塗布・コンクリート吹付等の表面保護を図るものは不可）を行う提案となっているか。 | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 調圧水槽（放水路含む）を抜水するための排水装置を設置する計画が提案されているか。 | | | |
| 放水路・放水口 | <ul style="list-style-type: none"> 放水路はFIP制度新設区分が認められる改修を行う提案となっているか。 | | | |
| 水車 | <ul style="list-style-type: none"> すべての水位領域で最大水量運転を可能とし、最大の連続又はピーク運転を前提とするとともに、年間発電電力量、施工性・保守管理を考慮の上、最適な水車を選定しているか。 | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 最大使用水量の40%未満でも運転可能な水車を選定しているか。 | | | |
| 発電機 | <ul style="list-style-type: none"> 発電機形式は三相同期発電機であるか。 | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 周波数は50Hzであるか。 | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 励磁方式はブラシレス方式であるか。 | | | |

| | |
|------|--|
| 登録記号 | |
|------|--|

| 項目 | 確認事項（田沢湖発電所） | 記載様式 | 入札参加者確認 | 県確認 |
|----------------|---|------|---------|-----|
| | <ul style="list-style-type: none"> 発電機及び軸受の冷却方式は、機器の簡素化、保守管理の省力化を図る提案となっているか。 | | | |
| 配電盤 | <ul style="list-style-type: none"> 発電所は、随時監視制御方式（遠隔自動制御）であり、発電所で直接制御ができる提案となっているか。 | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 汎用品以外の制御基板や電源装置は、予備品を全種類納入する提案となっているか。 | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 発電機及び主・副放流ゲートの制御は、見付田堰堤の水位を一定に保つよう自動制御するものとし、玉川発電事務所及び田沢湖発電所から自動・手動操作できるものであるか。 | | | |
| 変電所 | <ul style="list-style-type: none"> 系統側の事故により、系統と切り離された場合、自主復旧が可能な設備であるか。 | | | |
| 諸機械装置 | <ul style="list-style-type: none"> 天井クレーンは、発電設備（水車発電機等）の保守を支障なく実施できるよう、定格荷重、揚程等を決定しているか。 | | | |
| その他設備 （カメラ） | <ul style="list-style-type: none"> ネットワークカメラは、当該発電設備（※）の全体が可視できる位置と台数を設置しているか。 <p>※屋外特高機器、鉄構、発電所周辺（放水路、水圧鉄管露出部含む）、調圧水槽、水車発電機（補機類含む）、配電盤、キュービクル、田沢湖ダム及び取水ゲート室</p> | | | |
| 試運転の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 各種検査前において、機器調整及び無水・有水試験を概ね令和13年12月末までに実施する計画であるか。 | | | |

注 上記確認事項は主な要求水準であり、要求水準書において求める要求は全て満足すること。

| | |
|------|--|
| 登録記号 | |
|------|--|

(3) 技術提案書

ア 事業全体に関する提案書

(様式第 A-1 号) 事業全体方針**(様式第 A-1 号) 事業全体方針**

次の点を含めて記載してください。(最大枚数：A4×2 頁)

- ・事業に対する取組方針

(様式第 A-2 号) 事業実施体制

(様式第 A-2 号) 事業実施体制

次の点を含めて記載してください。(最大枚数：A4×4 頁)

- ・実施体制 (指揮命令系統、女性活躍推進に向けた取組を含む)
- ・役割分担表
- ・企業自体の FIT 又は FIP に係る工事実績
- ・配置予定技術者の実績、資格

■FIT 又は FIP に関する企業としての実績

| 企業名 | 電源種別 | 所在地 (都道府県) | 出力 (kW) | FIT 又は FIP 認定取得日 | 業務又は 工事完了年月 |
|-----|------|---------------|------------|---------------------|----------------|
| | | ●県 | | | 令和●年●月 |
| | | | | | |
| | | | | | |

※欄が足りない場合は適宜追加してください。

■配置予定技術者の実績、資格

| 配置予定技術者の氏名 | 役割・立場 | 実績※ ¹ | 保有資格 |
|------------|-------|------------------|------|
| | | | |
| | | | |
| | | | |

※欄が足りない場合は適宜追加してください。

※1：CORINS に登録されていない技術者の場合は、実績が確認できる書類として以下の2つのうちいずれかを添付してください。

1. 記載した工事の「現場代理人・主任（監理）技術者選任届」
2. 記載した工事と配置予定技術者との技術的な関わりが判断できる資料（配置予定技術者と実績工事の関わりを示す施工体系図等）

(様式第 A-3-1 号) 事業スケジュール【鎧畑】

次の点を含めて、鎧畑発電の工程表を作成してください。(最大枚数：A3各発電所×1頁の計2頁)

- ・工期及び発電停止期間の短縮策
- ・契約締結から発電運転開始までの工程表

| 業務項目 | 年月 | | | | | | | | | | |
|------|----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

(様式第 A-3-2 号) 事業スケジュール【田沢湖】

次の点を含めて、田沢湖発電所の工程表を作成してください。(最大枚数：A3各発電所×1頁の計2頁)

- ・工期及び発電停止期間の短縮策
- ・契約締結から発電運転開始までの工程表

| 業務項目 | 年月 | | | | | | | | | | |
|------|----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

(様式第 A-4 号) 発注者業務の軽減策及びリスク対応策**(様式第 A-4 号) 発注者業務の軽減策及びリスク対応策**

次の点を含めて記載してください。(最大枚数：A4×2 頁)

- ・発注者業務の軽減策
- ・主要なリスク及びリスク発現時の対応方針

(様式第 A-5 号) 地域貢献策**(様式第 A-5 号) 地域貢献策**

次の点を含めて記載してください。(最大枚数：A4×2 頁)

- ・地元地域への貢献につながる方策

(様式第 A-6 号) 賃金水準の向上

(様式第 A-6 号) 賃金水準の向上

次の点を含めて記載してください。(最大枚数：A4×1 頁)

- ・給与等受給者一人当たり給与等支払額の増加率

なお、増加率は、次の条件に基づき行うものとする。

- (1) 共同企業体の場合は、事業に携わる割合がより大きい構成員の増加率を記載すること。
- (2) 中小企業等とは、法人税法第 66 条第 2 項又は第 3 項に該当する者のことをいう。ただし、同条第 6 項に該当する者は除く。大企業はそれ以外の者のことをいう。
- (3) 令和 2 年と令和 3 年、令和 3 年と令和 4 年又は令和 4 年と令和 5 年の給与等支払額を比較した増加率のいずれかを記載すること。
- (4) 給与等受給者一人当たり給与等支払額の増加率は、税務署に提出した「源泉徴収票等の法定調書合計表」の控え（比較する各年の写しを添付すること）により、各々俸給・給与・賞与等の支払金額を人員で除した値を比較し、その増加率を求めること。

例) 【中小企業等で令和 3 年と令和 4 年の給与等支払額を比較した場合】

○令和 3 年分「源泉徴収票等の法定調書合計表」控えの「④俸給・給与・賞与等の総額」欄に記載されている人員と支払金額を確認。

- ・人員 31 人、支払金額 164,685,000 円

- ・一人当たり俸給・給与・賞与等支払額 164,685,000 円 / 31 人 = 5,312,420 円（1 円未満切り上げ）

○令和 4 年分「源泉徴収票等の法定調書合計表」控えの「④俸給・給与・賞与等の総額」欄に記載されている人員と支払金額を確認。

- ・人員 30 人、支払金額 162,131,000 円

- ・一人当たり俸給・給与・賞与等支払額 162,131,000 円 / 30 人 = 5,404,367 円（1 円未満切り上げ）

∴ $\{(5,404,367 \text{ 円} - 5,312,420 \text{ 円}) / 5,312,420 \text{ 円}\} \times 100 = 1.73\%$ (小数第 3 位を四捨五入)

【ケース (2)】継続雇用している正社員への支給額で評価する場合

【ケース (3)】時間外手当や賞与等を除いて評価する場合

【ケース (4)】継続雇用している正社員の基本給の定期昇給等で評価する場合

個別の事情より、ケース (2)、(3)、(4) に該当する場合は、税理士、公認会計士又は社会保険労務士による第三者の確認をもって、ケース (1) と同等の賃上げ実績として、その増加率を記載すること。

なお、「継続雇用」とは、賃上げを実施した当該年度とその比較対象となる前年度の 2 年間を通して雇用していることとする。

ケース (2) から (4) の場合は、下表に「賃上げ評価対象給与総額」と「対象社員数」を記載するとともに、税理士又は公認会計士等の氏名と押印を添えること。

(単位：円)

| 該当ケース (●) | | 令和 X 年度 (前年度) | 令和 X+1 年度 (当該年度) | 備考 |
|--------------------------|---------------------------|------------------|---------------------|------------------|
| 給与所得の源泉徴収票等の法定調書合計表の支払金額 | | | | — |
| 控除可能な 給与総額 | 期間内の 役員 に支給した給与総額 | | | (2)、(4)の 場合入力 |
| | 期間内の 休職者 に支給した給与総額 | | | (2)、(4)の 場合入力 |

登録記号

| | | | | |
|---------------------------|-------------------------------------|--|--|--------------|
| | 期間内の 退職者 に支給した給与総額 | | | (2)、(4)の場合入力 |
| | 期間内の 新規採用者 に支給した給与総額 | | | (2)、(4)の場合入力 |
| | 外注や派遣社員等の 一時的な雇い入れによる労務費 の総額 | | | (2)、(4)の場合入力 |
| | 一時金、賞与又は 超過勤務手当等 の総額 | | | (3)の場合入力 |
| | 期間内の 正社員 に支給した基本給以外の給与総額 | | | (4)の場合入力 |
| 賃上げ評価対象給与総額 (円) | | | | |
| 評価対象社員数 (人) | | | | |
| 一人当たり平均受給額 (円/人) | | | | |
| 給与等受給者一人当たりの平均受給額の増加率 (%) | | | | |

令和 年 月 日

(住所を記載)

(称号又は名称を記載)

(税理士又は公認会計士等を記載)

氏名

印

登録記号

イ 設計施工に関する提案書

| |
|------|
| 通し番号 |
|------|

| |
|-----|
| ○/○ |
|-----|

(様式第 B-1-1 号) 発電設備の全体計画【鎧畑】

(様式第 B-1-1 号) 発電設備の全体計画

次の点を含めて記載してください。(最大枚数：A4×6 頁)

- ・各発電設備の設計主旨及び諸元又は仕様

| |
|------|
| 登録記号 |
|------|

(様式第 B-1-2 号) 発電設備の全体計画【田沢湖】

(様式第 B-1-2 号) 発電設備の全体計画

次の点を含めて記載してください。(最大枚数：A4×6 頁)

- ・各発電設備の設計主旨及び諸元又は仕様

(様式第 B-2-1 号) 発電設備能力及び発電電力量の向上【鎧畑】

(様式第 B-2-1 号) 発電設備能力及び発電電力量の向上

鎧畑発電所について、次の点を含めて記載してください。(最大枚数：A4×3 頁)

- ・ピーク運転(ただし、流入量が 35m³/s 以上の場合は、最大連続運転)による年間可能発電電力量の試算と算出プロセス(有効落差の検討含む)
- ・流量別の水車発電機効率(効率曲線図含む)

なお、年間可能発電電力量の試算は、次の条件に基づき行うものとする。

- (1) 流量データは、至近 10 箇年分(2011 年 1 月 1 日～2020 年 12 月 31 日)の鎧畑ダム総放流量(発電+ダム放流)の日平均実績データを用いること。
- (2) 貯水位データは、至近 10 箇年分(2011 年 1 月 1 日～2020 年 12 月 31 日)の鎧畑ダムの各日 24 時実績データを用いること。
- (3) 放水庭水位は、放水路敷高 EL. 265. 400m を基準に、運転時の放水路水位上昇分を考慮して求めること。
- (4) 提案による水車発電機の運転可能領域(使用水量の範囲)を考慮すること。
- (5) 日単位で可能発電電力量を試算したもので 1 年分を合計することで、年単位の可能発電電力量を試算し、至近 10 箇年分の平均値を求めること。
- (6) 鎧畑ダム総放流量(発電+ダム放流)を用いた可能発電電力量の試算は下式により試算すること。

【鎧畑ダム総放流 ≥ 最高効率時流量の場合】

- ・発電時間=24 時間
- ・1 日あたりの可能発電電力量=

$$\frac{\text{発電時間} \times \text{最高効率時流量} \sim \text{最大使用水量} \times 9.8 \times \text{有効落差} \times \text{合成効率}}{24 \text{ 時間} \times \text{最高効率時流量} \sim \text{最大使用水量} \times 9.8 \times \text{有効落差} \times \text{合成効率}}$$

【鎧畑ダム総放流 < 最高効率時流量の場合】

- ・発電時間=総放流量/最高効率時流量×24 時間
- ・1 日あたりの可能発電電力量=

$$\text{発電時間} \times \text{最高効率時流量} \times 9.8 \times \text{有効落差} \times \text{合成効率 (ダム水位に応じた最高効率)}$$

また、流量別の水車発電機効率は、次に示す項目について値を記載すること。

| 流量比 | 100% | 80% | 60% | 40% | 最高効率 | 40%以下 |
|-------------------------|------|-----|-----|-----|-----------------|-----------------|
| | | | | | % ^{※1} | % ^{※2} |
| 発電出力(kW) | | | | | | |
| 使用水量(m ³ /s) | | | | | | |
| 水車効率(%) | | | | | | |
| 発電機効率(%) | | | | | | |
| 総合効率(%) | | | | | | |

※1) 最高効率時の流量比を記載すること。

※2) 最大使用水量の 40%未満でも発電できる場合の最低流量比を記載すること。

(様式第 B-2-2 号) 発電設備能力及び発電電力量の向上【田沢湖】

(様式第 B-2-2 号) 発電設備能力及び発電電力量の向上

田沢湖発電所について、次の点を含めて記載してください。(最大枚数：A4×3 頁)

- ・ピーク運転(ただし、流入量が 35m³/s 以上の場合は、最大連続運転)による年間可能発電電力量の試算と算出プロセス(有効落差の検討含む)
- ・流量別の水車発電機効率(効率曲線図含む)

なお、年間可能発電電力量の試算は、次の条件に基づき行うものとする。

- (1) 流量データは、至近 10 箇年分(2011 年 1 月 1 日～2020 年 12 月 31 日)の流入量の日平均実績データを用いること。
- (2) 貯水位は、見附田ダムの水位を基準水位に保つように自動で水位維持運転するように制御されていることから WL265.500 の一定水位とすること。
- (3) 放水位(田沢湖水位)は、要求水準書図 9 貯水運用計画(発電所放水路側水位)を各年各日の水位とすること。
- (4) 提案による水車発電機の運転可能領域(使用水量の範囲)を考慮すること。
- (5) 日単位で可能発電電力量を試算したもので 1 年分を合計することで、年単位の可能発電電力量を試算し、至近 10 箇年分の平均値を求めること。
- (6) 田沢湖発電所への流入量を用いた可能発電電力量の試算は下式により試算すること。

【田沢湖発電所 流入量 ≥ 最高効率時流量の場合】

- ・発電時間=24 時間
- ・1 日あたりの可能発電電力量=

$$\begin{aligned} & \text{発電時間} \times \text{最高効率時流量} \sim \text{最大使用水量} \times 9.8 \times \text{有効落差} \times \text{合成効率} \\ & 24 \text{ 時間} \times \text{最高効率時流量} \sim \text{最大使用水量} \times 9.8 \times \text{有効落差} \times \text{合成効率} \end{aligned}$$

【田沢湖発電所 流入量 < 最高効率時流量の場合】

- ・発電時間=発電所流入量/最高効率時流量×24 時間
- ・1 日あたりの可能発電電力量=

$$\text{発電時間} \times \text{最高効率時流量} \times 9.8 \times \text{有効落差} \times \text{合成効率 (ダム水位に応じた最高効率)}$$

また、流量別の水車発電機効率は、次に示す項目について値を記載すること。

| 流量比 | 100% | 80% | 60% | 40% | 最高効率 | 40%以下 |
|-------------------------|------|-----|-----|-----|-----------------|-----------------|
| | | | | | % ^{※1} | % ^{※2} |
| 発電出力(kW) | | | | | | |
| 使用水量(m ³ /s) | | | | | | |
| 水車効率(%) | | | | | | |
| 発電機効率(%) | | | | | | |
| 総合効率(%) | | | | | | |

※1) 最高効率時の流量比を記載すること。

※2) 最大使用水量の 40%未満でも発電できる場合の最低流量比を記載すること。

(様式第 B-3-1 号) 維持管理の簡素化及び運転管理費の縮減に資する方策【鎧畑】**(様式第 B-3-1 号) 維持管理の簡素化及び運転管理費の縮減に資する方策**

次の点を含めて記載してください。(最大枚数：A4×4 頁)

- ・維持管理の簡素化及び運転管理費の縮減及び発電設備の長寿命化に資する方策
- ・発電所内のレイアウト図

(様式第 B-3-2 号) 維持管理の簡素化及び運転管理費の縮減に資する方策【田沢湖】**(様式第 B-3-2 号) 維持管理の簡素化及び運転管理費の縮減に資する方策**

次の点を含めて記載してください。(最大枚数：A4×4 頁)

- ・維持管理の簡素化及び運転管理費の縮減及び発電設備の長寿命化に資する方策
- ・発電所内のレイアウト図

(様式第 B-4-1 号) 長期修繕計画【鎧畑】**(様式第 B-4-1 号) 長期修繕計画**

次の点を含めて記載してください。

- ・長期修繕計画の素案

別途提供する Microsoft Excel に記入して提出すること。

(様式第 B-4-1 号) 長期修繕計画 (最大枚数 : A3×1 頁)

(様式第 B-4-2 号) 長期修繕計画【田沢湖】**(様式第 B-4-2 号) 長期修繕計画**

次の点を含めて記載してください。

- ・長期修繕計画の素案

別途提供する Microsoft Excel に記入して提出すること。

(様式第 B-4-2 号) 長期修繕計画 (最大枚数 : A3×1 頁)

| |
|------|
| 通し番号 |
|------|

| |
|-----|
| ○/○ |
|-----|

(様式第 B-4-3 号) 長期修繕計画 (予備品及び付属品の納入計画) 【**鎧畑**】

(様式第 B-4-3 号) 長期修繕計画 (予備品及び付属品の納入計画)

次の点を含めて記載してください。(最大枚数 : A4×2 頁)

- ・ 予備品及び付属品の納入計画

| |
|------|
| 登録記号 |
|------|

| |
|------|
| 通し番号 |
|------|

| |
|-----|
| ○/○ |
|-----|

(様式第 B-4-4 号) 長期修繕計画 (予備品及び付属品の納入計画) 【田沢湖】

(様式第 B-4-4 号) 長期修繕計画 (予備品及び付属品の納入計画)

次の点を含めて記載してください。(最大枚数: A4×2 頁)

- ・ 予備品及び付属品の納入計画

| |
|------|
| 登録記号 |
|------|

(様式第 B-5-1 号) 施工計画【鎧畑】**(様式第 B-5-1 号) 施工計画**

次の点を含めて記載してください。(最大枚数：A4×4 頁)

- ・ 施工手順、搬入路や工事ヤード等の仮設計画
- ・ 施工上の周辺環境も含めた留意事項と対応策

(様式第 B-5-2 号) 施工計画【田沢湖】**(様式第 B-5-2 号) 施工計画**

次の点を含めて記載してください。(最大枚数：A4×4 頁)

- ・ 施工手順、搬入路や工事ヤード等の仮設計画
- ・ 施工上の周辺環境も含めた留意事項と対応策

(様式第 B-6-1 号) 引渡し後のアフターサービス【鎧畑】**(様式第 B-6-1 号) 引渡し後のアフターサービス**

次の点を含めて記載してください。(最大枚数：A4×1 頁)

- ・ 施工後の引渡し内容や情報（図書等）
- ・ 技術員派遣
- ・ 部品調達等発電設備のメンテナンス体制
- ・ 連絡体制

(様式第 B-6-2 号) 引渡し後のアフターサービス【田沢湖】**(様式第 B-6-2 号) 引渡し後のアフターサービス**

次の点を含めて記載してください。(最大枚数：A4×1 頁)

- ・ 施工後の引渡し内容や情報 (図書等)
- ・ 技術員派遣
- ・ 部品調達等発電設備のメンテナンス体制
- ・ 連絡体制

ウ 施設計画図面集

(図面1) 発電計画の概要 (発電諸元)【鎧畑・田沢湖】

次の点を含めて記載してください。(規格：A4、最大頁数：任意)

- ・ 発電出力
- ・ 使用水量
- ・ 有効落差
- ・ 損失落差
- ・ 発電電力量
- ・ 水車形式 等



- ・ 接続検討申込における「設備配置関連 (敷地平面図)」及びFIP 申請において「発電所設置場所敷地図」として使用する図面
- ・ 図中に縮尺を記載すること

・ FIP 申請書類に必要な取水設備～導水路～調圧水槽～水圧管路～水車～放水路を示す平面図



(図面 5) 土木・建築 (断面図) 【鎧畑・田沢湖】

| | |
|------|-----|
| 通し番号 | 〇/〇 |
|------|-----|

- ・ 取水設備、導水路、調圧水槽、水圧管路、水車、放水路等の主要横断面図
- ・ FIP 申請書類に必要な取水設備～導水路～調圧水槽～水圧管路～水車～放水路を示す縦断面図

| | |
|------|--|
| 登録記号 | |
|------|--|

(図面 6) 土木・建築 (構造図) 【鎧畑・田沢湖】

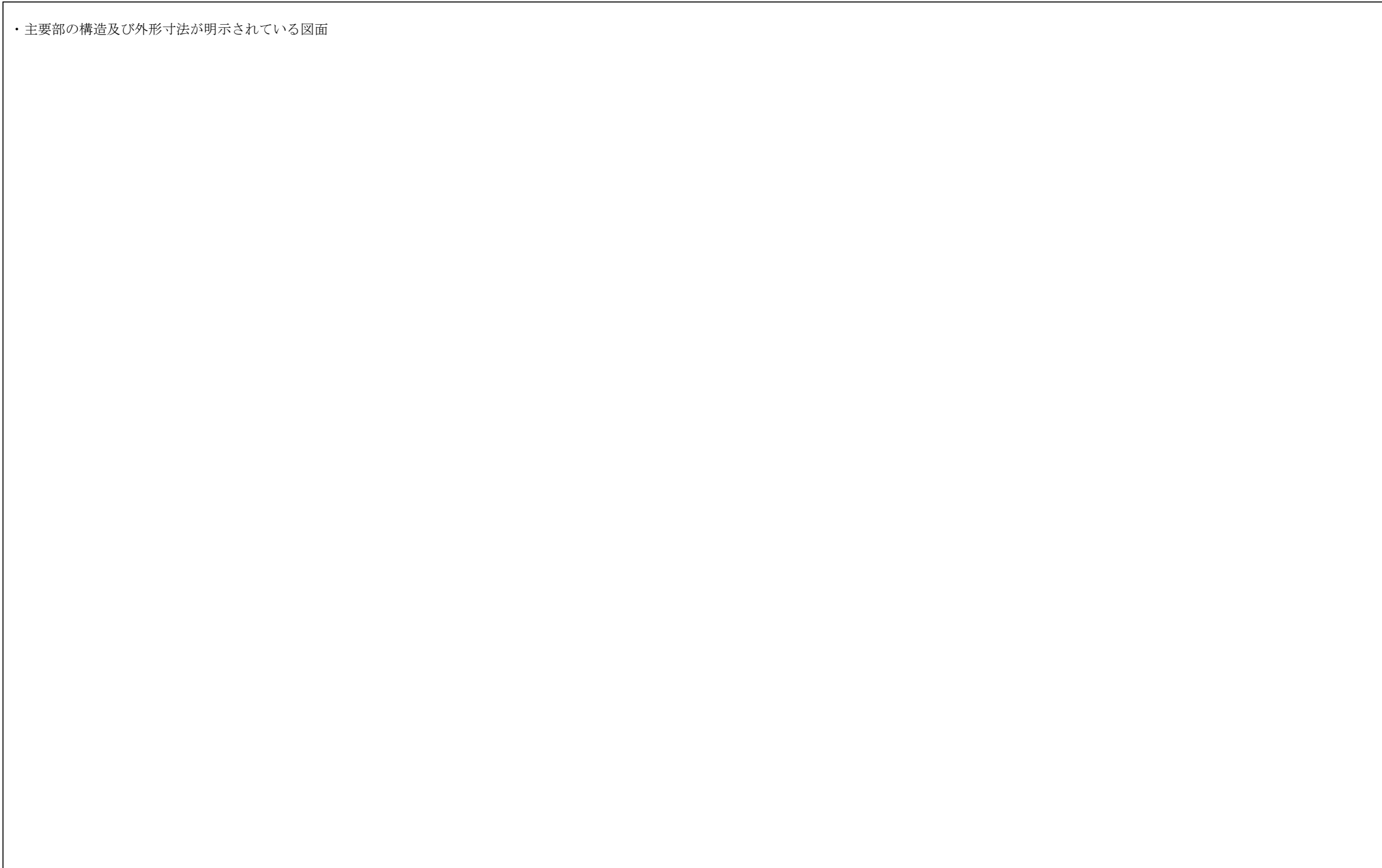
| | |
|------|-----|
| 通し番号 | 〇/〇 |
|------|-----|

- ・ (鎧畑発電所) 導水路、調圧水槽、水圧管路、発電所建屋・基礎、放水路等
- ・ (田沢湖発電所) 田沢湖堰堤、水圧管路、発電所建屋・基礎、調圧水槽、放水路等

| | |
|------|--|
| 登録記号 | |
|------|--|

・ 図面に施工方法等の説明を記載することは可

・ 主要部の構造及び外形寸法が明示されている図面



・ 機器の内部構造の詳細が確認できる図面、又は全体構造及び器具の配置が明示され、仕様及び分解組立が理解できる図面



・ 接続検討申込及び FIP 申請書類に必要な、発電機 (発電設備) から取引用電力量計を經由して系統線 (送配電線) までの配線状況を示す図面

・変電設備

(4) 接続検討申込に必要な書類

(様式第 5-4-1 号) 発電設備仕様 (同期機) 【鎧畑・田沢湖】

※ 本様式は Microsoft Excel 形式を参照のこと。

(様式第 5-4-2 号) 保護リレー【鎧畑・田沢湖】

※ 本様式は Microsoft Excel 形式を参照のこと。

(様式第 5-4-3 号) 変圧器および線路【鎧畑・田沢湖】

※ 本様式は Microsoft Excel 形式を参照のこと。

(様式第 5-4-4 号) 受電設備および負荷設備【鎧畑・田沢湖】

- ・ 電圧フリッカ発生源がある場合は、電圧フリッカ対策検討資料を添付

※ 本様式は Microsoft Excel 形式を参照のこと。

(様式第 5-4-5 号) 高調波流出電流計算書【鎧畑・田沢湖】

- ・ 高調波を発生する設備を設置する場合に作成すること。

※ 本様式は Microsoft Excel 形式を参照のこと。

(様式第 5-4-6 号) 発電機制御系ブロック図 (励磁系) 【鎧畑・田沢湖】



| | |
|------|--|
| 登録記号 | |
|------|--|

(様式第 5-4-7 号) 発電機制御系ブロック図 (ガバナ系) 【鎧畑・田沢湖】



登録記号

| |
|--|
| |
|--|

(様式第 5-4-8 号) 発電機の飽和特性【鎧畑・田沢湖】



登録記号

| |
|--|
| |
|--|

(様式第 5-4-9 号) 設備配置関連 (主要設備レイアウト図) 【鎧畑・田沢湖】

- ・ 計量器・VCT・通信端末ならびに受電設備の設置場所が分かるように記載すること。
- ・ 通信ケーブルの引込ルートが指定があれば分かるように記載すること。
- ・ 図中に縮尺を記載すること。

(様式第 5-4-10 号) 保護リレーブロック図【鎧畑・田沢湖】



| | |
|------|--|
| 登録記号 | |
|------|--|



(様式第 5-4-12 号) インピーダンスマップ【鎧畑・田沢湖】

※ 本様式は Microsoft Excel 形式を参照のこと。



- (様式第 5-4-14 号) 変圧器励磁特性【鎧畑・田沢湖】
- ・様式第 5-4-14 又は当該様式と同等の資料とすること

※ 本様式は Microsoft Excel 形式を参照のこと。

(様式第 5-4-15 号) 発電機出力制御に関する資料【鎧畑・田沢湖】

- ・ 電圧制御・発電機有効電力及び無効電力制御方法を記載

※ 任意様式 (A4) で作成のこと。

(様式第 5-4-16 号) 保護装置の取扱説明書【鎧畑・田沢湖】

※ 任意様式 (A4) で作成のこと。

6 入札辞退時の提出書類

(様式第 6 号) 入札辞退届

令和 6 年 月 日

入札辞退届

秋田県知事 佐竹 敬久 様

入札参加者：共同企業体の名称 _____
代表者 住 所： _____
商号又は名称： _____
代表者氏名： _____ 印

事業名

_____ 釜畑及び田沢湖発電所大規模改良事業 06-DK-11 _____

令和 6 年 4 月 23 日付で入札公告のありました上記の事業について、参加表明書及び参加資格確認申請書等を提出しましたが、都合により入札参加を辞退します。

| | |
|---------|--|
| 担当者 所属 | |
| 担当者 氏名 | |
| 電話番号 | |
| メールアドレス | |

登録記号